

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2013
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.104, (2013. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01040001--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

藝文研究

第百四号

目次

- | | | |
|----------------------------|---|-------|
| 1 | 『朝野群載』卷十三の問題点 | 佐藤道生 |
| 18 | 〈瀧の白糸〉上演史における泉鏡花「錦染瀧白糸」の位置 | 鈴木彩 |
| 37 | 『三国志演義』の「笑い」の位相について | 吉永壮介 |
| 55 | 「莎菲女士の日記」にみる丁玲の恋愛・結婚観——一九二〇年代の
中国における知識人女性の生き方をめぐって—— | 松倉梨恵 |
| <hr/> | | |
| 111 | 彙報 | |
| 2012年度慶應義塾大学藝文学会シンポジウム | | |
| ——ヨーロッパ文学の深層——古代・中世からの呼びかけ | | |
| 125 | 中世ヨーロッパは超自然をどうとらえたか
——12世紀イングランドの死後世界とヴィジョン—— | 松田隆美 |
| 142 | ピンダロスの詩的言語——その esoterism 的側面 | 西村太良 |
| 160 | 「学者語源」をめぐって | 川口順二 |
| 176 | 図書検索システムの問題点 | 田坂憲二 |
| 195 | 中国の「四角コード」漢字検索法とコンピュータ入力法の現状について
山下輝彦 | |
| 219 | 『燃えた家』あるいはジョルジュ・バタイユによる映画の試み | 中川真知子 |
| 235 | 旅する商人の知恵——サヴァリ『商業総合事典』からみた
『百科全書』パリ版とルッカ版の比較の試み—— | 小嶋竜寿 |
| 249 | 「らしい」と推論 | 喜田浩平 |
| 267 | リズムの間様態性——アクラム・カーン／シディ・ラルビ・シェルカウイ
によるダンス作品「ゼロ度」におけるリズム間の緊張 | 三宅舞 |
| 285 | 正常と異常——カフカの『雑種』における奇形性—— | 寺田雄介 |
| 300 | ジャック・ロンドンとティム・オブライエンの比較研究
——人間と動物における表象のはざままで | 濟藤葵 |
| 325 | ウォルター・ペイターにおける透明性と学者の使命 | 石川大智 |
| 344 | 対話におけるトークンと文法の創発 | 伊澤直仁 |

慶應義塾大学藝文学会